

ホーム > 市民レポーター > すてきなアートワーク「グローイングシティ」



東久留米市役所が新庁舎になり1 2 年が経ちました。

ところで、くるくるユーザーの皆様は、市庁舎にある大きなアートワーク（壁画）をご存知でしょうか。市庁舎の正面玄関に入って真正面ちょっと右側の壁面です。

このアートワークは、壁画作家：ルイ・フランセンさんの作品「グローイングシティ」です。（クラーレ熱海ゆがわら工房制作）

ルイ・フランセンさん（Louis Fransen、日本名：緒方 累 1928～2010）は、ベルギー生まれの壁画作家で、日本国内で数多くのパブリックアートを手掛けてこられました。



このアートワークは、各々のパーツごとに意味があり、この壁画全体では「光り輝いて発展していく東久留米のまち」を表現しているとのこと。

向かって右より・・・
 遠くの町並み
 東久留米を流れる川、水
 中心市街地と東久留米駅
 バックの赤い丸は昇る太陽⇒光り輝く
 縦のラインは、西武鉄道の線路

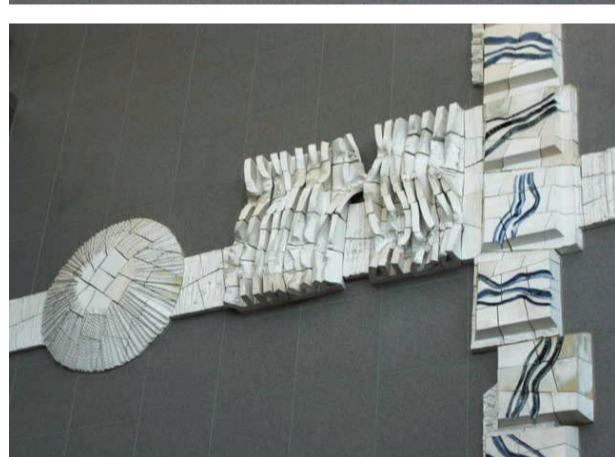


東久留米のみどり

（良く見ると竹林公園にも見えますね！！）



東久留米の川、湧水



横のラインは、まさにえ富士見通り

ブルーの曲線は、東久留米の湧水、川

そして、一番左の円形は、何だと思いませんか？

実は、日本一の山、『富士山』なのです。

東久留米駅西口からまっすぐ、まさにえ富士見通りの向こうに富士山がそびえ立つ、水と緑のゆたかなこのまちが、いつまでも発展し、輝き続けていけるようお願いを込めて、ルイ・フランセン先生が壁画を制作して下さったのだと思いました。

作者が伝えなかった表現がわかるようになると、より身近で親近感のある芸術作品に思え、日に日に愛着が増してくる今日このごろです。

この東久留米が、一人ひとりが生き生きと光り輝く素敵なおまちに発展しますように・・・

『Glowing City Higashikurume!!』



【ひとことメモ】

東久留米市庁舎のアートワークが、そんなに有名な方の作品だなんて知らなかったという方も多いはず。

東久留米市庁舎のほか、フランセン作品を調べてみました。

近場もあります。

是非、足を運んでみよう。

- ・東京工業大学「科学と人間」（東京都港区）
- ・都営大江戸線牛込柳町駅「柳町グラフィティ」（東京都新宿区）
- ・J R 拜島駅自由通路「美しい水の流れ、吹き渡る風に夢を乗せて」（東京都昭島市）
- ・みなとみらい線新高島平駅「Deep Sea Dream」（東京都板橋区）
- ・茨城空港「思い出」（茨城県東茨城郡）
- ・横浜市営地下鉄・立場駅「JOY OF LIFE」（神奈川県横浜市）
- ・千葉都市モノレール千葉駅「そよ風」（千葉県千葉市）
- ・裁判所合同庁舎東京家庭・簡易裁判所「希望」（東京都千代田区）
- ・J R 浜松駅北口前広場「伸びゆく浜松」（静岡県浜松市）
- ・J P 藤沢駅「湘南讃歌」（神奈川県藤沢市）
- ・中銀ライフケア「ペリー公の豊かな一日」（静岡県熱海市）
- ・J T 猫田記念体育館「ミュンヘンオリンピック」（広島県広島市）
- ・仙台空港アクセス鉄道 仙台空港駅「陽—未来への誘い」（宮城県仙台市）
- ・J R 長崎駅ターミナルビル「龍踊り」（長崎県長崎市）

【詳しくは、財団法人日本交通文化協会のHP <http://jptca.org/works/> をご覧ください。】

猫の宮 記